



校長室より

先日、新聞でこんな見出しが目に入りました。

「学力低下で2000兆円損失 コロナ禍で生涯収入減、世銀警鐘」

コロナ禍によって世界中の学校が閉鎖されました。未だに授業再開できない国も多いのです。日本では令和2年3月から3ヶ月間、全国一斉に臨時休校が行われました。授業再開後は夏休みを短縮したりして授業時間を確保し、翌年の全国学調で学力低下は見られないとの分析結果にほっとしたものです。しかし一方で発展途上の国々では休校が長期に及び、オンライン学習の環境も整っておらず、著しい学力低下が見られるようです。また広くオンライン授業を導入した韓国でも学力低下が認められ問題となりました。日本は休校期間が3ヶ月と他より短く、「何とか取り返せる」レベルだったことが、不幸中の幸いだったと思われます。半年、1年と続けば、どんな手を打っても取り戻せない部分があったのではないのでしょうか。

しかしなぜ学力低下が2000兆円もの所得減に繋がるのでしょうか。発展途上国では長期の学校閉鎖で「読み、書き、計算」の基礎的な学力が身につかないまま義務教育の年齢を過ぎてしまう子どもが多いそうです。また賃金の高い専門職、技能職の資格や免許も、基礎学力がなければ合格できず、低い賃金で働くことになる。一方日本のような豊かな国では、休校中の勉強を塾で補えた子どもと、塾に行けない子どもの格差が、将来に影響を及ぼす等々、一人一人の収入の減少が積み積もって2000兆円…今の子ども達は将来2000兆円の「稼ぎ」をコロナのために失うことになるらしいのです。

学校は何のためにあるのか 勉強は何のためにするのか

この記事は、コロナ禍に関係なくもっと本質的な事実を教えているように思うのです。それは端的に言えば「これからますます学力が収入に直結する時代が来る」ということです。日本は豊かな国です。全ての産業が高度に情報化、機械化されています。技術革新もめざましく、最新技術もあつという間に旧式になってしまいます。「最新」を使いこなし、同時にアップデートしていく能力は当然で、さらに自ら工夫・改善し、新しいモノやコトを創り出す能力も今後一層求められます。最先端を維持するためには並々ならぬ努力が必要です。努力によって常に世界の最先端にいるからこそ豊かになれる現実を忘れてはいけません。追いかけてくる国々の勢いは凄まじく、油断すればあつという間に追い越されてしまいます。過去世界2位と言われた日本のGDPは、今や10位以下です。

これから先の経済社会が向上か現状維持か、それとも後退かは、子ども達の将来の豊かさに直結します。そしてその未来を築くのもまた、子ども達自身です。求められるのは「最先端でいるだけでなく、さらにその先を創り出す力」です。学校では将来必要なそういった能力の基盤となる能力の習得が求められます。工業高校の電子機械科では「機械を動かす」から「機械や工業用ロボットを動かすコンピュータを動かす」学習に、普通高校の探求科では大学で求められる「探求力を培う」学習に、それぞれ重点が置かれています。高校・大学は今後世界最先端を学び、かつ創造力を高める学習の場へと急速に変革されていきます。すると小・中学校に求められるのは、高校・大学で学ぶ最先端学習のさらに「土台」となる部分、基礎的・基本的な知識・技能をこれまで以上にしっかり身につけることです。特に小学校で学ぶ「読み、書き、算数」と「読み取る・聴き取る力」は、中学、高校、大学での学びの成果を左右する、非常に重要な土台部分となります。

学校は勉強するところです。そして勉強は将来、子ども達自身が幸せに暮らすための大切な行いです。小学生は（中学生でも）そんなことはなかなか実感として理解できません。しかしだからといって手をこまねいては、子ども達の将来は危ういのです。勉強への毅然とした厳しさが、危機感とともに今、求められています。

4年前から始めたこのコラムも今回で終わりです。毎回駄文にお付き合い下さりありがとうございました。全てのご家族のご健康とご多幸を、心よりお祈りいたしております。



3月・4月の予定

3月 11日(金) 卒業式
23日(水) 給食終了・通知表配付(小)
24日(木) 終業式・修了式・離任式
通知表配付(中)

4月 8日(金) 始業式(AM)・入学式(PM)
12日(火) 給食開始(小1は4/14開始予定)
28日(木) 授業参観・PTA総会
学級懇談会

学校評価アンケート、ありがとうございました。

頂いたご意見はそれぞれ、今後の学校経営に活かしていきます。以下、内容的に同じと思われる複数のご意見、ご質問について、現段階でのお答えを掲載します。

◎行事が殆どなかったのが残念◎体育大会がなかったことが残念◎こんなご時世だからこそ子どもの頑張っている姿を目の当たりにしたかった(できなかった)

コロナ禍の中、万一学校でクラスターが発生すれば、接触した児童生徒、教職員だけでなく、その家族全員が検査対象となり、何日間も登校できず仕事にも行けない状況に陥ります。そのためこの1年、感染予防を最優先とした教育活動を行ってきました。また実際、学校内で子ども同士の感染は殆ど例がなく、保護者や兄弟姉妹(保育園、幼稚園、高校生、大学生、社会人)からの家族内感染が多いことから「大人を学校に入れない」ことが感染予防の大きな柱の一つとなっていました。体育大会についてはご存じの通り本校のグラウンドが12月に完成するまで使用できず、運動公園や北小グラウンドでの開催も検討しました(中学校は運動公園で開催)が、グラウンド状態や移動手段、低学年児童の指導(トイレや食事)等の障害が明らかになり断念、次善の策として本校体育館で学団ごとに開催、保護者にはギャラリーから参観して頂く計画としました。ところが感染状況が悪化し、直前に保護者参観を断念する等、紆余曲折した経緯があります。オープンスクールも計画し、参観の予約を取るところまでこぎ着けながら断念に追い込まれるなど、保護者のみなさんにしてみれば「締め出された」と感じて仕方がない状況であったことは、大変遺憾です。しかし様々な形でのご家庭の協力のおかげで、今の状況が維持できていると思われ、感謝しております。11月には授業参観も実施できました。来年度はオープンスクール、授業参観等、学習、体育、文化面それぞれの学習発表会を中心に、子ども達の学校での姿を見ていただく機会をたくさん設ける予定です。しかしそのためにはコロナ禍が一層の収束に向かうことが不可欠となります。引き続き感染防止にもご協力をお願いします。

◎中学校も自転車通学をなくしてバス通にしてほしい

◎冬季、中学生は保護者送迎が大変なので登校だけでもバス通にしてほしい◎バス通が1年年経過、乗車場所の変更希望等の要望調査をお願いしたい。

中学生のバス通学については学校単位で決められることではなく、市内5つの中学校での自転車通学の実態と学校間のバランスおよび全国的な実態を調査、勘案して決定されます。市教委は市内全体の状況を常に把握しており、様々なご要望も機会ある毎に伝えているところですが、すぐに変更できる仕組みではありません。冬季や雨天時の送迎はご負担をおかけしますが、何卒ご協力のほど、よろしく願いいたします。個別の乗車場所変更や、安全面・利便面からのバス停の位置変更などは可能な限り随時行っています。昨年度も数件、相談を頂き変更をおこないました。いつでもご相談ください。

◎校則見直しの予定はないのでしょうか

校則については、開校前に地域住民・保護者・教員で組織された角鹿小中学校統合検討委員会において、制服制定にも関連して何度も議論されました。ポロシャツ導入は決定しましたが、その他については開校後、制服等の暫定期間終了を待って、ジェンダーフリーに基づく新制服制定の可否を含めた総合的な見直しが生徒・家庭主体で必要との結論により、現状があります。今後動き始めた際にはご家庭での話し合い等、積極的な参加・協力をお願いいたします。

◎学校生活の様子をお便りで伝えてほしい◎行事の写真やネットを閲覧・購入できるようにしてほしい◎おたよりをカラーにしてほしい◎HPの更新回数を増やしてほしい

学級、学年のおたよりは定期的に発行しています。またHPの更新も週1回を目途に行っています。しかし全校415名、22学級の活動をまんべんなくお知らせすることは難しいです。教員は業務の合間を縫って、あるいは持ち帰り仕事でこれらを行っています。「回数を増やす」ことは難しいことをご理解下さい。またネット販売は修学旅行で例がありますが、校内行事記録の業者委託は難しい状況です。またおたよりのカラー化については、A4版をカラー印刷すると1枚あたり15円以上、モノクロ印刷はリソグラフ印刷機で1枚あたり0.7円前後のコストがかかります。学校の印刷機は市の経費で賄われており、限られた予算で効率的に運用しなければなりません。カラー印刷は美しいのですが、経費的に難しく、またカラープリンターで学級分、学年分を印刷することは時間的にも困難です。HPに掲載する写真は悪用されないよう加工したり、顔のアップは載せない等の配慮をしていますが、おたよりもカラーで顔や姿が掲載されると、スキャンして悪用される恐れがあります。様々な制約や個人情報への配慮の下、できる限りの情報提供をしていきたいと考えております。どうかご理解いただきたく、お願いする次第です。

◎先生の名前が分からないので、名札をつけてほしい

教員は普段、校内ではネームプレートを首から下げていますが、授業や子ども達との交流でじゃまになる際に外してそのままになってしまうこともあり、また放課後は職員室で保管します。保護者、業者等外部からの来校者に来校者プレートを付けていただく取組と共に、今後着用の向上を図っていきます。

クラス替えがあります！

角鹿小中学校は全学年2学級ですので、小学校は1年おきに(2年生から3年生、4年生から5年生になるとき)、中学校は毎年、クラス替えを行います。新しいクラスは、4月8日に登校したときに発表となります。初めてクラス替えを体験する小学生がほとんどかもしれません。新しい仲間たちとの新しい学校生活を、楽しみにしててください。

